化学療法登録票

令和6年1月31日

診療科：　泌尿器科

申請者：　熊谷　伸　㊞

実施部署	外来　入院		
化学療法名	ペムブロリズマブ（ｷｲﾄﾙｰﾀﾞ®）+レンバチニブ(ﾚﾝﾋﾞﾏ®)療法	1クール日数	21日
適応病名	未治療根治切除不能又は転移性腎細胞癌	所要時間	約60分
適応分類	初発　進行・再発　術後補助　術前補助　その他		

番号	抗悪性腫瘍薬名	1日投与量	投与法	投与日
1	キイトルーダ点滴静注	200mg/body	点滴静注	day 1
2	レンビマカプセル	1日1回 20mg	内服	連日
3				

備考欄	・未治療根治切除不能又は転移性腎細胞癌における1次治療のみ使用可能
	・中間解析における奏功率(ORR)は71%で高値、IMDCリスクによらず高い奏功率が得らている。
	・ペンブロリズマブ投与時間は30分間かけて点滴静注、インラインフィルター0.2又は5μmを使用
	・ヒトPD-1に対するヒト化モノクローナル抗体キイトルーダ点滴静注は、骨髄抑制及び免疫関連有害反応に対するモニタリングにあたり、オプジーボと同じ検査セットを使用する
	・レンバチニブはVEGFR-FGFR阻害薬、副作用は高血圧、手足症候群、発声障害、甲状腺機能障害、下痢、間質性肺疾患などに注意 ・他に注意を要する副作用として肝障害。投与中止理由で最も多かった。肝障害発現時は投与中止し、24～72時間以内に再検査を行い、AST/ALT増加が基準値2倍以下またはベーズラインに回復するまで検査を行うことが望ましい。
ガイドライン文献名	国際共同第Ⅲ相試験　CLEAR試験（KEYNOTE-581/307試験）
その他	

受付番号	:	78
審査日	:	
登録日	:	
改定日	:	
登録削除日	:	